

あらためて出光佐三さんを偲ぶ

皆さんは「凌霜メーブルマガジン」の本年6月1日号はご覧になったでしょうか。そこでは去る5月16日、出光佐三さんの出身地、福岡県宗像市から宗像青年会議所の伊規須清貞理事長はじめ5名の方が出光さんの母校である神戸大学に来訪されたことが述べられています。(公社)宗像青年会議所は、この4月1日絵本「出光佐三のふるさとくむなかたから世界へ」を出版されましたが、その際に「(公財)神戸大学六甲台後援会」や神戸大学の対応に対する謝意表明のために来学、六甲台講堂、社会科学系図書館、六甲台本館等々を見学されました。

この絵本は、当会理事・評議員の皆さまはお渡ししましたが、出光さんの誕生から少年時代、神戸高商での学び、出光商会の設立から終戦を経て、「海賊とよばれた男」で有名になった日章丸事件をはじめ、郷里宗像のための数々のご貢献を描いたものになっています。私たちは、出光さんについては今迄も色々なことを知っています。その一部はこの「六甲台後援会だより」でも何回か取り上げさせて頂きました。ことに、「六甲台後援会だより」(17)と(18)および(19)では、六甲台講堂が出光佐三記念六甲台講堂になったことと関連していくつかのことを取り上げました。しかし、今回の宗像青年会議所の絵本を通じて、描き出されている宗像市へのご貢献については残念ながら存じ上げずにいました。すなわち、出光さんは1937年、郷

里の宗像大社の荒れ果てた姿に心を痛め、そのあと約30年かけて神社再興に努められ、そのために現在価値では数十億円になるといわれる負担もされたようです。これは宗像が従来「神郡」と言われて来たのにこの惨状からの復興でしたから、地域住民への言い尽くせない献身になっていました。この宗像大社の「沖津宮」が、お祭りしてある沖ノ島の学術調査を行い、国宝となる数多くの出土品の発掘へとつながり、のちにこの島は神宿る島として世界遺産沖ノ島になりました。それだけではありません。宗像は昔から教育熱心な郡で、教育郡とも言われています。自分自身神戸高等商業学校で当時わが国最高の経済学・商学の勉学に励んだ出光さんは、郷里宗像に大学を創設されました。

すなわち、1959年、宗像に刑務所を移転する計画があった時、出光さんはそれに強く反対、自らお金を出して土地を購入し、色々な方面に働きかけて福岡教育大学を開学されました。出光さんの地元へのご貢献はそれだけではありません。宗像の若者に勇気をもって奮起せよと宗像青年会議所を創るなどして、1978年には宗像町の名誉町民にられました。出光さんのこうした郷里宗像への貢献は、出光さん自身が述べられることも少なかったこともあって、今回の青年会議所の絵本で、私どもも初めて存じ上げることになったのです。

考えてみると、一部の私立大学などでは大学創設者の偉業を称える記念室などもあって、その業績を偲び、そこで勉学する機会を得た者に深い感動を与えるようになっていきます。ところが、国立大学ではそういう機会を提供するようにはなっていま

せん。せいぜい何人かの銅像が建立されているのが通常です。こうした記念室の設置については、人選その他いくつかの問題はあります。しかし、一度検討してみる価値はあるのではないかと思います。

#### 第11回凌霜賞授賞式について

昭和32年に設立された神戸大学六甲台後援会の50周年を記念して始められた「凌霜賞」も今年で第11回を迎えることになりました。授賞式は、吉井昌彦常務理事の開会の辞のあと、高崎正弘理事長の挨拶に続いて37名の学生諸君への凌霜賞、すなわち、社会科学特別奨励賞の授与が行われました。受賞されたのは以下の方々です。経済学部では、2年生中川晃一・矢次さくら・宇野聡一郎、3年生大野安香莉・寺田伊織・吉川泰生、4年生NGUYEN HONG ANH・奥田真伍・河合美波、経営学部では2年生中村実夢・横内綾乃・加藤日菜、3年生谷口華・上田和奈・田伏俊輝、4年生吉田凌太・水野翔太・奥舎幹也、法学部では、2年生坂樹・久野夏樹・西山ひかる、3年生井川祥・柴田拓真・中原京輔、4年生大山茜・花井紗理菜・山田真寛、大学院生では、経済学研究科前期課程2年田村穂、経営学研究科後期課程1年徐康勲、2年宮川新平、法学研究科では、前期課程2年松本未希子、後期課程2年ESHONKULOVA SHAKHOZA、3年SOEIRO SIMOES DEBORA CATARINA・高希麗、国際協力研究科後期課程2年BAUAB BRITO LANA、3年塩田潤・ZOUNDI ZAKARIAの皆さんでした。日頃の努力が報われた訳でおめでたいことです。

なお、理事長は挨拶の中で、凌霜賞設置、六甲台後援会の意

義などを説明するとともに、自らの卒論作成における指導教官との素晴らしい経験について話をしながら、受賞者の皆さんがグローバル化の不確実な環境の中で、それを乗り越えて成長されるよう期待を述べました。六甲台後援会として心から皆さんのご健闘をお祈りしたいと考えます。

この機会に、凌霜賞についてご説明を追加しておきます。はじめに述べましたように、凌霜賞は六甲台後援会創設50周年を記念して平成20年に設けられ、一応10年間の予定でした。当初平成20年度から26年度までは、各学部2・3・4年生各1名に1人60万円、大学院前期課程生には、各研究科1・2年生各1名に1人60万円の授与でした。しかし、実施して色々な課題もあることを考慮して支給の仕方も平成27年度から変更し、学部生に対しては1人20万円に、その代わり各学年毎に3名に増やし、また30年度からは当初予定の10年が過ぎたので1人10万円に減額しました。それと並んで大学院前期課程生に対しては、平成25年度と26年度は2年生のみ各1名60万円を支給していましたが、27年度からは、当初から後期課程生に対して行った海外派遣（1研究科100万円以内）方式に変え、しかも、1部局160万円以内で支給することにしました。30年度からは1研究科60万円に減額しております。その結果、平成20年度以降続いてきた凌霜賞の支給総額は、1億1,996万9千円になりましたが、高崎理事長も述べたように、非常に意味深い役割を果たしてきました。ことに凌霜賞による大学院生の海外派遣は、第10回に当る平成29年度だけでも18名になり、国際化の役割も担っています。また凌霜賞を受賞された学生は、学部

大学院を含めてこの10年間で315名にも達しました。

### ある匿名希望者のご寄附について

皆さんはきつとある匿名希望者が平成19年度以降25年度まで7年間に亘って巨額の寄附をして下さったことにお気付きになっていたと思います。この方は最初の19年度は50万円と100万円の2回でしたが、そのあと、平成20年度以降は、毎年2回、200万円ずつ、25年度を最後に、合計2,550万円を寄附して頂きました。この方のお名前は、事務局には判っていますが、匿名はご本人の強いご希望でしたから、今回もあえてお名前は申し上げます。この方は法学部を昭和35年に卒業された方で、そのことは、ご本人からの葉書連絡にございます。しかし、平成25年この方は不幸なことに自宅でご逝去になっていったことが、後日判明しました。残念ながらどういいうご生活であったかも明らかではないままご逝去のことが判りましたために、六甲台後援会としてなすべきことも出来ていません。いまはただ、どんな事情があるにしても、これだけ長期間に亘って巨額のご寄附を続けて頂く母校愛に対して心からお礼を申し上げ、皆さんとご一緒にご冥福をお祈りしたいと思います。

### 今回も皆さまのご寄附誠に有難うございました

毎号この欄で皆様から頂いているご寄附についてご報告させて頂いています。平成28年度から毎年、凌霄会会誌10月号に凌霄会会員の皆様へ「寄附金についてお願い」を同封させて頂いておりますが、神戸大学基金へのお願い書との同封には、会員の皆様から種々貴重なご意見を頂いておりますので、今年から神戸大学基金に先行して7月号に同封させて頂きました。

8月17日現在でのご報告となりますが、多くの皆様からご寄附を頂いております。誠に有難うございます。

金額別に丹下昌夫様(昭62経済)から1千円、佐渡島英厚様(昭48経済)から2千円、西野公三様(昭33経営)、米澤哲様(昭33経営)、立岡健様(昭33法)、大段嘉宏様(昭33法)、山本透様(昭53経営)、能丸知子様(平14法)から各3千円、稲垣修平様(平22法)、道下薫様(昭56経済)、中谷貞之様(昭38経済)、土居謙一様(昭39経済)、宮崎浩二様(昭53法)、三上弘志様(昭46経済)、金丸昭夫様(昭24)、山口剛様(昭49経営)、前田芳一様(昭31経済)、奥村禎敏様(昭55経営)、榎原洋司様(平5経済)、米谷收様(昭32経済)、大下弘之様(平5法)、中畑勝明様(昭41経営)、敏森廣光様(昭48経済)、大西仁一郎様(昭62経営)から各5千円、角田修平様(昭34法)、海保裕様(昭33経済)から各6千円、林克彦様(昭33経営)、石井久安様(昭49経営)、田中嗣也様(昭34法)、兵頭裕様(昭48法)、大久保博章様(昭56法)、小西信次様(昭23)、中桐慎二郎様(平5経済)、野崎幹雄様(昭35経済)、川添信様(平25経営学研究所)、永田毅様(昭44経済)、櫻井裕英様(昭34法)、大出芳次様(昭30経済)、川口節男様(昭49経済)、岩崎隆様(昭47経営)、中野尚彦様(昭57経営)、小林英二様(昭28経営)、宮崎恒彰様(昭40経営)、沼田恵介様(昭41経済)、杉原和幸様(昭59法)、藤田一幸様(昭54経済)、岸田誠二様(昭35経営)、木村勝實様(昭42法)、松島茂樹様(平1法)、橋本直樹様(昭47経済)、都築幹典様(昭51経営)、川本浩一様(昭61経済)、塩田喜彦様(昭36経済)、伊原康夫様(昭31経済)、若杉雅之様(昭44法)、石塚一博様(昭41

経済)、岡本光弘様(昭31法)、古林清様(昭43経営)、玉村憲雄様(昭41経営)、柴崎晃様(昭31法)、仁志益夫様(昭30経営)、奥豊様(昭31経営)、木下三郎様(昭24)、樋口俊夫様(昭43法)、上巳浩様(昭45経営)、稲本祐二様(昭43経営)、小林泰明様(昭51経営)、田中宏政様(昭62経済)、藤原潤一様(昭46法)、杉田文夫様(昭36経済Ⅱ)、水田義明様(昭30経営)、高倉六雄様(昭29経営)、俵正市様(昭32法学研究科)、戸梶幸夫様(昭45経営)、森本隆様(昭57法)、三島明様(昭54経営)、大野和夫様(昭41経営)、森原大造様(平3法)、吉田健様(昭32法)、抜山映子様(昭32法)、山本茂樹様(昭50経済)、清水秀男様(昭41経済)、鳥原和憲様(昭41経済)、市坡幹久様(昭53経済)から各1万円、長岡靖裕様(昭35法)、石田宏様(昭29経営)、播磨四郎様(昭39経営)、石川直司様(昭35経済)、田中謙様(昭52法)、小幡浩士様(昭42法)、丹波俊人様(昭47経済)、池永滉様(昭37経営)、近藤宣夫様(昭32経営)から各2万円、堀口勝弘様(昭33経済)、竹村勝彦様(昭41経済)、水野洋様(昭32法)、小林一三様(昭33経営)、平位和子様(平3経営)、大野顕司様(昭62法)、山地吉昭様(昭30法学研究科)、岸本義一様(昭56経営)、武田眞様(昭53経営)、植木郁雄様(昭45経営)、島田誠様(昭41経営)、小野俊明様(昭36経済Ⅱ)、柿聰様(昭36経営)、平田正昭様(昭32経営)、武元和巳様(昭45経済)から各3万円、山本秀雄様(昭48経済)、山邑陽一様(昭34法)、原田壽夫様(昭40経営)、伊東輝久様(昭36法)、高岡浩三様(昭58経営)、山下州彌様(昭43経営)、合田精宏様(昭31経営)、川田重信様(昭53経営)、鶴浩一様(昭32経済)、浦井照之様(昭34経営)、岡村久道様(平28

法・岡村憲道様の保護者)、吉井昌彦様(昭56経済)、匿名様(昭54経済)、茂木孟様(昭34経営)、宇仁菅良司様(昭28経営)、有岡幹雄様(昭34経営)から各5万円、出口哲也様(昭33経営)から8万円、田邊弘幸様(昭43経営)、安藤幹雄様(昭45法)、尾野俊二様(昭48経済)、段野治雄様(昭40経済)、匿名様(昭28)、辻本健二様(昭45経済)、岡田信吾様(昭43経済)、石渡吉彦様(昭37経営)、山邑陽一様(昭34法)、片桐陽様(昭40経済)、松坂英孝様(昭55経営)、新庄浩二様(昭38経済)、堀功郎様(昭32法)、松本昭三様(昭26)、平松秀則様(昭42経営)、番尚志様(昭44経営)、阿部雅様(昭33経済)、原田壽夫様(昭40経営)、築地雅樹様(昭47経営)、島岡司様(昭27)、宮永安生様(昭43法)から各10万円、河本一郎ゼミ同窓会様(幹事・鳴戸大二様)から19万7,060円、凌霄43年会様から19万8,666円、福嶋正彦様(昭34経営)、小澤偉伸様(昭32経営)から各100万円をご寄附頂きました。おかげで、本号で新たに報告できる寄附金額は669万8,726円になりました。厚くお礼申し上げます。

なお、すでにご承知のとおり、皆様からのご寄附は、平成25年8月14日、兵庫県知事から「税額控除に係る証明書」(有効期間、平成30年8月13日まで)を頂いており、「所得控除」又は「税額控除」のどちらか有利な方を選択して頂けるようになっていきます。このたび平成30年8月14日付けで「税額控除に係る証明書」(有効期間、平成30年8月14日から平成35年8月13日まで)を頂くことができました。引き続き「税額控除」の適用を受けることができそうですので皆様へご報告させて頂きましますとともに

協力に感謝申し上げます。税額控除制度の適用を受けるためには、3,000円以上を寄附した者が年平均100人以上いることが要件になっていきますので引き続きご協力のほどよろしく  
お願い申し上げます。

毎回お願いしています寄附金の送り先は左記の通りです。よろしく  
お願い申し上げます。

◎銀行送金の場合（銀行からの連絡が遅く、領収書送付が遅れないようにするため、お葉書でも電話・FAXでも結構です  
から、送金のことについて事務局にご一報ください）

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4069496

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合（通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください）

口座番号 00980-9-116772

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX (078) 861-3013

E-mail: rokkodafund@kobe-u.com